

しくみづくり
安心して子育てできる環境づくり
妊娠・出産から子育てまで切れめなく支援
0.5億円

▶ 保育環境をよりよく

築50年以上が経過し老朽化が進む忍ヶ丘あおぞらこども園の建て替えに関する基本計画を策定。現在の敷地で、園舎を1棟にまとめる形で建て替えに向け検討します。また、多子世帯の子育て支援のため、第2子以降の保育料を完全に無償化。昨年度は就学前の第2子(第1子を就学前に限定してカウント)を対象としていましたが、今年度は、第1子の年齢を問わず生計を同一にするきょうだいを年長順にカウントし、支援を拡大します。



▶ 妊婦と子どもの健康を守る

妊婦の経済的な負担を軽減する支援として、低所得の妊婦の初回産科受診料の助成や、単体妊娠より多くの妊婦健診受診が推奨される多胎妊娠の妊婦健康診査費用の助成を実施。また、生まれつき難聴の子どもを早期に発見し療育につなげられるよう、新生児聴覚検査費用の一部を助成し、すべての新生児が検査を受けられるよう支援します。

ほかにも、医療的ケア児等コーディネーターを新たに配置し、医療的ケア児等やその家族が地域で安心して生活できるしくみづくりに取り組みます。



しくみづくり
デジタル技術でサービス向上
同時に職員の事務効率化も
0.6億円

▶ 早く簡単に行政手続きを

昨年度から、市役所に行かなくても行政サービスを受けられる電子申請システムを本格稼働させ、現在94種類・全体の約41%をオンライン化しています。さらに今年度は、コンビニで交付できる証明書に戸籍謄本などを追加するほか、「書かない窓口」を市民課に導入し、タブレット端末操作での申請書作成や、マイナンバーカードで証明書交付ができるしくみを整えます。また、コンタクトセンター(1月に導入済み)で蓄積している問い合わせ情報のデータを活用し、より良い広聴や政策立案につなげていく取り組みも継続します。



ひとづくり・まちづくり・しくみづくりって何? 問合 企画広報課

市では、令和5年3月に「第2期四條畷市総合戦略」を策定し、令和5~9年度の5か年のまちづくりのテーマを「みんなで未来を育むまち 四條畷」、めざす目標値を「40歳未満の社会増(3か年平均)」と設定しました。

それを実現していくための基本目標として、「ひとづくり」「まちづくり」「しくみづくり」の3項目に分け、各項目について方針と施策を示しています。今回紹介した6つの重要施策は、ここから来ています。



しくみづくり
誰もが健康でいられる環境を
住み慣れた地域でいきいきと暮らす
0.1億円

▶ 介護保険事業の単独実施

くすのき広域連合解散後も、円滑な介護保険事業の運営に努めます。医療・介護・予防・住まい・生活支援サービスを切れめなく提供する「地域包括ケアシステム」をさらに進展させるとともに、ICTなども活用し介護予防にもより力を入れていきます。

▶ 忙しい人にもがん検診を


職場などで受診機会がない40歳以上を対象に個別・集団検診で実施している大腸がん検診に、「郵送受診」を新設(11月~令和7年2月)。検診会場や病院に行く手間が省けます。

もっと詳しく! 健康を守るため、がん検診がより便利に

大腸がん検診の郵送検診導入以外にも、さまざまながん検診受診の利便性向上に取り組んでいます! 毎月掲載している「健康情報」のページもチェックしてください。

1 大腸がん検診 NEW
郵送検診を11月~令和7年2月に実施
費用 400円
詳細は広報誌・市ホームページでお知らせ

2 胃がん検診 NEW
エックス線(バリウム)検診
四條畷・大東市内でも受診できるように
受診可能な医療機関▶



3 集団検診
一部の日程でネット予約が可能
日程・対象▶



4 乳がん・子宮頸がん検診
集団検診で夕方・夜間検診を実施
日時 9月13日(金)17時~19時40分
※一部時間帯は「3 集団検診」(左下)の二次元コードからネット予約可
内容 乳がん・子宮頸がん・大腸がん検診
対象 和暦偶数年生まれ
※和暦奇数年生まれの令和5年度未受診者は、保健センターに対象者証明書(有効期限3か月)の発行を申請することで、個別医療機関での受診が可能(次年度以降は市の定める検診年度で受診を)。
問合 保健センター